

平成30年度寿楽荘事業計画・収支予算(抜粋)

基本方針

介護報酬改定には昨年度中に行われた介護職員処遇改善費用も含まれており、決してめざましい収入増ではありません。逆に褥瘡予防対策や身体拘束廃止対策はさらなるレベル向上を求められています。施設は収入確保とサービスレベルの維持、いわば職員処遇と利用者処遇の狭間で厳しい運営を行なうこととなります。さらには働き手の確保、入所希望者の確保、そしてEPA介護福祉士候補生の受け入れという新しい取り組みや、老朽化が進む介護用品・調理器具といった高額物品の計画的な整備など課題は山積しております。

このような状況ですが、寿楽荘は各職員が最大限の力を発揮し連携をとることで、50年間受け継がれてきた愛情、人の和、信頼関係の中での慈悲(慈 = 他に楽を与える、悲 = 他の苦を除く)を理想に利用者自身が主体となって生活をエンジョイできる施設を目指していきます。

また、寿楽荘も改築より17年となります。法人内琴清苑の改築と並行し、寿楽荘の改築にむけた長期計画として10年後・20年後の寿楽荘を見据え、高齢人口の動態や就労人口の減少も視野に、若年層の雇用促進・育成と再雇用制度の更なる充実、赤字を出さない経営を目標に財政基盤の強化を図ります。

入所者に関しては平均要介護度が4.1を超え、今までにない課題も発生することが予想されます。限られた人員でのサービス提供となるので、効率性も考慮した日常業務の遂行により安心・安全なサービス提供を目指します。

1 重点目標

組織力の強化

職員一人ひとりがそれぞれの立場において資質の向上・職種間の連携強化に努め、協調性を養い信頼関係を構築します。

創立時よりの理念(理想)、目標の周知と再認識

「愛情、人の和、信頼関係の中での慈悲を理想に利用者自身が主体となって生活をエンジョイできる施設を目指していきます。」これら理念と目標の周知・再認識に努めます。

介護報酬各種加算を請求できる体制づくりと稼働率の確保

(財政基盤の安定化・強化)

若年層の雇用促進・育成と再雇用制度の充実

ハローワーク・教育機関と連携し町内・外の新卒者並びに若年層の雇用の促進を図り、介護・看護職員を長期的に継続して育成できる体制づくりを進めます。また、再雇用制度については誰もが安心して働けるよう制度の強化に取り組みます。

EPA介護福祉士候補生の受け入れに関する体制整備

将来の介護人材として大変重要な取組となります。3年間にわたる実習期間では、言葉や生活習慣・食事などにおいて候補生にも施設にも多くの不安や課題が予想されますが担当職員・関連機関との連携を密にし、取り組んでまいります。

2 計画

1.中長期計画に添った施設稼働率95%(要介護度4.0)ショート稼働率100%の達成を目指します。

2.老朽化設備、機器等の計画的な更新と修繕による対応を図ります。

(利用者の安全面に配慮した機器への変更)

3.職員雇用にあたり幅広い人材確保に向け各種行政機関、学校等との連携を密にした人材の確保に取り組みます。

4.自立と尊厳ある生活支援

(傾聴による生活支援と利用者処遇の更なる向上)

5.職員の更なる資質向上に向け、キャリア段位制度の活用、双葉会研修規程に基づいた研修への参加を計りながら職員の育成に努めていきます。

詳細は事業計画書をご一読ください。

資金収支計算書(当初予算)	
勘定科目	寿楽荘会計
事業活動収入計	839,169,000
事業活動支出計	811,289,000
事業活動資金収支差額 (-)	27,880,000
施設整備等収入計	0
施設整備等支出計	37,583,000
施設整備等資金収支差額 (-)	-37,583,000
その他の活動による収入計	11,916,000
その他の活動による支出計	1,500,000
その他の活動資金収支差額 (-)	10,416,000
予備費支出	713,000
当期資金収支差額合計 (+ + -)	0
前期末支払資金残高	364,932,030
当期末支払資金残高 (+)	364,932,030